

内部統制 TIMES

～ 自律的な改善をめざして～

第 3 号 H27 . 7 . 7 発行
総務局監察部内部統制担当
ba0031@city.osaka.lg.jp

重要なお知らせ *Warnig!*

日本年金機構において、ウイルスメール（標的型攻撃メール）による不正アクセスにより、多くの個人情報が出ました。平成 26 年度の内部統制の取組みにおいて整備した「コンピューターウイルスの感染」への対応策では、「職員研修等による周知」及び「情報セキュリティ対策セルフチェック」の実施が所属における必須取組となっていますので、確実に実施してください。また、総務局 IT 統括課が随時、庁内ポータルにおいて[早期警戒情報](#)を掲載、更新していますので、必ずチェックし、最新の情報を入手、周知していただきますようお願いいたします。



内部統制連絡会議を開催しました！

去る 6 月 18 日、第 1 回大阪市内部統制連絡会議を開催しました。

連絡会議は、内部統制に関する連絡調整及び情報共有を図るため、原則として年 1 回以上開催するものです。会議の冒頭、最高内部統制責任者（市長）から次のような訓示がありました。

市長訓示(抄)

所属長の皆さんには、内部統制の責任者として様々なリスクをきちっと分析・把握してもらった上で、PDCA サイクルをしっかりと回して取り組んでいただきたいと思います。

～ 中略～

共通業務についての責任者。こちらは総務局と連携して、各所属のリスク対応策のモニタリングをしっかりと行って、各所属の取組みをサポートしてください。共通業務責任者がその部分についてしっかりとサポートしていただきたいと思います。

～ 中略～

組織が大きいからミスがゼロというわけにはいきません。ミスは出てしまいますよというのは内部の話であって、やはり外部、有権者、市民から見ると、1つのミスであったとしても、「それはどうやねん」ということとなりますので、巨大な組織であるがゆえに、内部統制の仕組み、しっかりとこれを進めていってほしいと思っています。

連絡会議の資料や会議録等は、[庁内ポータル（総務局の内部統制関係情報）](#)に掲載しています。

また、連絡会議で報告した「平成 26 年度 内部統制の整備・運用状況に係る報告書」等は、内部統制の実施状況をとりとめたものとして、[HP（新たな内部統制の確立）](#)に掲載し、公表しています。

さて、今月から「リスク把握・評価に係る研修」を皮切りに、平成 27 年度の取組みが本格的にスタートします。各所属においては、「本格的なリスク把握・評価」、「昨年度に整備したリスク対応策の自己点検」を重点的に進め、内部統制の PDCA サイクルを一巡させていただく予定です。

内部統制は、職員一人ひとりが自律的に遂行するものですので、皆さんの積極的な取組みをお願いします！！



内部統制 TIMES

～自律的な改善をめざして～

第4号 H27.8.4発行

総務局監察部内部統制担当

ba0031@city.osaka.lg.jp

リスク把握・評価の極意とは!!

challenge!

内部統制連絡会議において、市長から「リスク把握の重要性」について訓示がありました（訓示の概要は第3号を参照）ように、内部統制は、「リスクを低減するためのプロセス」ですから、まずは、適正な業務を阻害するどんなリスクがあるかを把握することから始まります。

現在、各所属ではリスクの把握・評価に取り組んでいただいておりますが、リスクを把握するという作業は、一見後ろ向きに感じられる作業のため、なかなか前に進まないかもしれませんので、「リスク把握の極意3箇条」を最初にお伝えします。

その1 自分の身の回りのことから考える！

何のとっかかりもなく、考えるのは難しいので、まずは自分の身の回りのことから、想像力を働かせて考えてみましょう。そこから、派生して次々に新たなリスクが思い浮かんでくるかもしれません。

その2 最初からあまり細かいレベルで把握しようとしなない！

最初はある程度抽象的なレベルで考えてみましょう。最初から細かく考えすぎると、リスク数が膨大になります。
 （細かすぎる例）収入から助成額を除いても収入超過であるにも関わらず、助成金が助成される。
 （抽象的な例） unnecessaryな助成金が交付される。

その3 Let's challenge リスク把握！

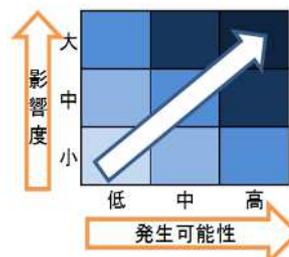
一人で机に向かって、うんうん考えていてもなかなか進まないと思います。「3人寄れば文殊の知恵」。できるだけ多くの人で、気楽に、楽しい雰囲気の中で考えてみましょう！！



把握したリスクは、放置せず、対応策を整備する必要がありますが、把握したリスクを評価し（優先順位をつけ）、優先度の高いリスクから対応策を整備していくというのが内部統制の考え方です。リスク評価もあまり馴染みがない作業かと思いますが、「リスク評価の極意3箇条」もお伝えします。

その1 評価はあくまでも相対的なもの、気楽に！

リスク評価の影響度や発生可能性は絶対的な指標ではなく、あくまでも、把握したリスクの中で相対的な評価を行うためのものですので、気楽に考えてみてください。



その2 リスク評価基準(案)を各所属でカスタマイズ！

内部統制研修の中で、「リスク評価基準(案)」を提示させていただいておりますので、各所属の実情に応じ、作り変え(カスタマイズ)した上でご活用ください。

その3 Let's challenge リスク評価！

把握と同じように、気楽に、楽しい雰囲気の中で決めましょう！！「仕事を進める上で、しんどいことや後ろ向きな内容もあるが、雰囲気のいい中でやれば、前向きに捉えられ、良い結果につながると思った。（内部統制研修受講者評価シートより）」素晴らしいメッセージをいただきました！

内部統制 TIMES

～自律的な改善をめざして～

第 5 号 H27. 9. 10 発行

総務局監察部内部統制担当

ba0031@city.osaka.lg.jp

リスク把握・評価お疲れ様でした!!

Thanks !

この間、各所属で取組んでいただいた「リスク把握・評価」ですが、初めての取組みにもかかわらず、各所属・職場において熱心に議論、検討していただいたのではないかと感じております。例えば、外郭団体の監理に係るリスク、市政情報の発信に係るリスクなど、新たな発想でリスクを洗い出した所属や、10 個以上のリスクを洗い出した所属があるなど、各所属に潜むリスクをしっかりと掘り下げていただいたという印象を受けています。

各所属の報告内容をとりまとめ、次号（10 月発行予定）に、その概要を掲載する予定としておりますので、楽しみにお待ちください!! また、優先順位 3 位までのリスクと指定リスクは、昨年と同様、共通業務責任者の意見等を踏まえ、リスク対応策を改善、整備していきますので、よろしくお祈いします!!

去年のリスク対応策はどうなるの?・・・自己点検です!!

昨年度、3 つの指定リスク（コンピューターウィルスの感染、個人情報の漏えい、不十分な備品管理）に加え、各所属においてリスクを把握していただき、そのリスクへの対応策を整備、報告していただきました。

その後、一定の期間が経過しましたので、次は『内部統制の PDCA サイクル』

（[第 2 号下図参照](#)）の「C」に相当する「対応策の自己点検」を実施します。

自己点検のポイントは次の 3 つです。

ポイントは3つ!

Self check!!

✓ リスク対応策の実施状況をチェック!!

各所属で整備した『リスク対応策の PDCA』の各取組みが実施できているか、現在実施中か、今後実施予定かをチェックしてください。年度途中でこの点検を行うことにより、今後の取組みを改めて確認することになりますし、万が一、取組みに漏れがあったとしても、残りの半年でリカバリーしていくことができます。

✓ CHECK の結果及びリスク発生状況を確認!!

『リスク対応策の PDCA』の「C」を実施している場合は、その結果を確認してください。「C」で問題があった場合は、「A」の段階で少なくとも「P」で計画する内容（研修の場合、内容や対象者など）の見直しは必要ですし、場合によっては、リスク対応策そのものを改善する必要があるかもしれません。

また、リスクが発生しているかどうかの確認もしてください。対応策を漏れなく実施し、「C」に問題がなくても、リスクが発生している場合は、リスク対応策そのものを改善する必要があるかもしれません。

✓ 現時点での有効性を判定!!

「C」の結果やリスク発生状況を踏まえ、現時点でのリスク対応策の有効性を判定してください。「有効でない」となれば、必ずリスク対応策そのものを改善（＝対応策の記載内容を変更）する必要があります。

ただ、ここで注意したいのは、「C」の結果に問題があったり、リスクが発生している場合でも、必ずしも対応策が「有効でない」とはならない場合があることです。

例えば、「C」の結果に問題があったとしても、それが全体のごく一部であり、「P」の計画内容の見直しで解決できる場合や、対応策ではコントロールできない外的要因でリスクが発生した場合などは、対応策は「有効」かもしれません。したがって、あくまでも全体の状況を踏まえ、総合的に判定する必要があります。

自己点検は、年 2 回は実施する必要があり、次回は 2 月頃に依頼する予定です。自己点検を確実に実施するとともに、その結果を踏まえた改善を着実にを行い、『内部統制の PDCA サイクル』を回しましょう!!